2011 年度 小委員会活動成果報告

（2012 年 2 月 15 日作成）

小委員会名	ノーマライゼーション環境小委員会	**主 査 名**：水村　容子 **就任年月**：2008 年　　4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	建築計画委員会（計画基礎運営委員会）	委員長名：松村　秀一 主 査 名：大野　隆造
設　置　期　間	2008　年　4 月　　～　　2012　年　3 月	
設　置　目　的 各年度活動計画 （箇条書き）	・ノーマライゼーション社会の実現に資する、建築に関わる研究事業の実施 ・「居住」をテーマとした公開研究会の開催・実施 ・2011 年度全国大会時における見学会などの開催・実施 ・建築学会における情報保障制度の充実に向けた活動	
委員構成 （委員名（所属））	**委員公募の有無**：有 主査：水村容子（東洋大学）、幹事：阪東美智子（国立保険医療科学院）、山脇博紀（筑波技術大学）、委員：大村薫（日本女子大学）、小幡敏信（本田技研工業）、亀屋恵三子（神戸市立高等工業専門学校）、古山周太郎（奈良県立大学）、菅原麻衣子（東京工業大学）、鈴木義弘（大分大学）、西野達也（広島大学）、山崎晋（明治大学）、吉村和美（吉村和美住環境デザイン研究所）、松田雄二（東京理科大学）、石橋達勇（北翔大学）、山田義文（東洋大学）	
設置 WG （WG 名：目的）		
2011 年度予算	244,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s12/

項　　目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	
講習会	
催し物 （シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）	１．研究会「真の住宅セーフティネットを考える－住生活基本計画の変更（案）を受けて－」　参加者数 43 名 ２．障害者や高齢者の住生活を支える「移動の質」について　研究会　参加者数 27 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	１．年度内に「居住」に関わる公開研究会の２回の実施が実現した。 ２．全国大会開催期間中に定例に見学会に加えて、医療施設の見学会や勉強会などを実施した。 ３．引き続き情報保障に関する体制整備に対する申し入れを実施した。 上記に点から、当初設定した活動目的を十分達成したと評価する。
委員会活動の問題点・課題	１．小委員会発足当初計画した「障害をもつ学生などの大学生活環境整備」に関する刊行企画を中止した。 ２．ノーマライゼーション理念に関わる、様々な研究活動を実施してきたので、それらを総括した刊行企画などを実施すべきであった。